

# 山本乾燥情報



No.1

今年、全国的に非常に気温が高い日が続きました。  
 出穂後に高い気温が続き、高温障害の発生が心配されます。  
 高温障害の被害が重度化するのを避けるため、低温で乾燥してください。  
 また、刈取水分が低い場合は低温でゆっくり乾燥をお願いします。



高温障害で乳白粒や心白粒が発生すると、胴割粒が発生したり、乾燥作業で重度化する恐れがあります。玄米にダメージが少なくなるよう**低温**で乾燥することで、胴割れの増加・重度化を抑え高品質なお米に仕上がります。

## 《乾燥方法》

張込量（穀物量）を下げると、乾燥温度が下がりゆっくり乾燥します。  
 新型乾燥機では、乾燥速度を設定できるので「ゆっくり」を選択してください。



①を押すと、乾燥速度が設定できます。  
**【ゆっくり】**を選択してください。

⑥を押すと、張込量の設定ができます。  
**実際の張込量よりも少なく設定すると乾燥温度を下げられます。**

**※乾燥速度の設定が出来ない機種は穀物量ダイヤルを少なく設定してください。**

また**籾の水分バラツキ**がある場合、「**休止乾燥**」をお勧めします。  
 操作盤で、水分休止設定やプログラムタイマ設定を行ってください。

※型式により設定方法が異なりますので、取扱説明書を参照ください。